

令和 6 年 5 月 17 日現在

機関番号：12603

研究種目：基盤研究(A)（一般）

研究期間：2020～2023

課題番号：20H00085

研究課題名（和文）イスラーム・ジェンダー学と現代的課題に関する応用的・実践的研究

研究課題名（英文）JSPS Research Project on Islam and Gender: Towards a Comprehensive Discussion

研究代表者

長澤 榮治（Nagasawa, Eiji）

東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・研究員

研究者番号：00272493

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 34,500,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、イスラーム・ジェンダー学という新しい知的挑戦の枠組みを通じて現代世界が直面する諸問題を考察し、解決方法を模索するものである。とくに諸問題の根底にある人々の「分断」に着目し、それをつくり出す構造を明らかにすることを目指している。具体的には、「イスラーム」と「ジェンダー」の視座から、さまざまな「障壁」や「格差」、「摩擦」についての人文社会学的研究を行ってきた。個別研究・班研究・全体集会等を通じ考察を深め、国際ワークショップ・国際学会への参加を通じて国際学術交流を図った。一般市民向けの公開セミナーやイスラーム・ジェンダー・シリーズの刊行を通じて成果の社会還元に努めた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

「イスラーム」と「ジェンダー」の視座から、現代世界において人々の「分断」を生みだしている諸問題の実態を分析し、その構造と背景を考察するとともに、公正な秩序にもとづく共生社会を実現するための諸課題を明らかにしようと試みた。これらの応用的実践的な諸課題に取り組むに当たっては、多様な専門分野の研究者の参加を得ることによって理論的な考察を深めるとともに、マイノリティと差別、難民や移民の問題など「分断」と「共生」をめぐる問題に関心のある市民との交流を通じて、人の営む暮らしや日常的な感覚に根差した問題解決の道を探った。

研究成果の概要（英文）：This study examines and seeks solutions to various problems facing the contemporary world through the framework of Islam and Gender Studies. We focus on the division of people that is at the root of various problems and seek to clarify the structures that create this division. From the perspective of Islam and gender, we have conducted humanistic and sociological research on various barriers, disparities, and frictions. We have deepened our study by conducting individual, group, and plenary research, and we have promoted international academic exchange by participating in international workshops and conferences. We also held public seminars and published articles and books to disseminate our research findings, in particular "Islam and Gender Studies" series in 8 volumes.

研究分野：中東地域研究

キーワード：イスラーム ジェンダー 共生 マイノリティ 格差

1. 研究開始当初の背景

中東・北アフリカ諸国は、世界ジェンダー・ギャップ指数では、特に低い順位に留まっている。それは地政学的要因や、豊富な地下資源と関わる諸外国の干渉介入などの外的要因、家父長制、民主化の遅れ、経済格差、紛争の多発など、複合的な諸要因が絡む問題に起因するグローバルな環境で生成されたものである。それにもかかわらず、同地域のジェンダー問題はしばしば、同地域に特徴的なイスラームという宗教に起因するという議論が行われてきた。このような偏った見方を克服するためには、イスラームとジェンダー問題の関わりについての実態研究が必要である。こうした研究は1970年代以降盛んになってきたが、その後21世紀に入り、ジェンダーをめぐる認識や知識が刷新され、広がりをみせる中、さらなる研究の深化が必要となっている。

こうした背景を踏まえて実施されたのが、基盤研究(A)課題番号16H01899「イスラーム・ジェンダー学構築のための総合的基礎的研究」(2016-19年度)であり、本研究は、この「イスラーム・ジェンダー学」科研第1期の研究成果を引き継ぎ、発展させるために構想された。すなわち、グローバルな問題の解決、現代世界が直面する分断や差別の問題について、「イスラーム・ジェンダー学」という新しい知的枠組みによって、応用的・実践的な研究を進めることが主要な課題である。

その核心をなす学術的「問い」は、以下の三点にまとめられる。(1)現代世界が直面する諸問題(紛争、難民、過激思想とテロ、性的暴力、移民排斥など)が、イスラームおよびジェンダーをめぐる問題と結びつきながらどのように展開しているのか、(2)その中で人々はどのように生活を営み、問題解決のために自らの思想を組み立てて、問題に立ち向かっているのか、(3)これらの知見を援用することで考えられる、普遍的に多くの地域に通用する「諸問題を乗り越える方策」とは何か、である。

2. 研究の目的

本研究の目的は、上記三点の問いを「イスラーム・ジェンダー学」的アプローチから、国内外の研究者及び市民組織と共に問うことにある。言い換えれば、現在、人類が直面する普遍的な諸問題について「イスラーム」と「ジェンダー」という二つの切り口を通じて多様な立場の人々が議論を交わすことで、新たな知見を開拓することを目指した。

今日的な諸問題(紛争、難民、過激思想とテロ、性的暴力、移民排斥、ヘイトスピーチなど)との関連で、本研究でとくに注目するのは、人々の間に広がりつつある分断の傾向である。それらの代表的な例が、排外主義に基づく差別や抑圧であるが、本研究では現代世界でみられる「障壁」「格差」「摩擦」を人の営み暮らしや日常的な感覚で捉え、それを政治経済的文脈に据えて考察する。それと同時にこうした分断をいかに乗り越えるのか、最終的には現代世界において「共生社会」とは何か、その実現には何が必要か、についても考察することを目的とした。

3. 研究の方法

上記の研究目的に関する諸課題について考察を進めるために、個別研究と共同研究を進めるとともに、全体としての活動を主導する総括班と、六つの班研究を組織した。総括班

「共生とマイノリティ」班研究 A「欧米のマイノリティに対する複合的差別の比較研究」、班研究 B「ポスト紛争後の修復的正義とジェンダー」、班研究 C「イスラーム家族・女性関連法の運用実態の研究」、班研究 D「家族に関わる問題とその解決に向けた試みの諸相」、班研究 E「労働と社会開発に関する比較研究」、班研究 F「社会福祉・医療における人権とイスラーム」である。

これらの研究を進めるに当たっては、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、オンラインによる新しい研究セミナーの形式として「巣ごもり読書会」および「巣ごもり映画研究会」を連続して開催した。成果の社会還元を目的として、医療保健関係者や世界史担当者など教育関係者との研究交流を行うとともに、アフガニスタン情勢の急変や在日クルドの人々をめぐる問題など現代的課題に機動的に対応するセミナー、ムスリム・チャプレンに関する研究会など実践的な課題に取り組んだ。

一般市民向けの公開セミナー「日本に暮らすムスリムを取り巻く諸問題 職場・学校・地域から」(2020年度・オンライン)、「鹿児島から『異文化』と『食』を考える」(2022年度・鹿児島)、「北海道におけるムスリム - ムスリム観光客受入と定住者との共生に向けた課題」(2023年度・室蘭)を開催した。

全体集会シンポジウムでは、研究活動の中間総括として「イスラーム・ジェンダー学が目指すもの 公正の問題を考える」(2022年度) および研究活動を総括する「イスラーム・ジェンダー学の軌跡と今後のゆくえ」(2023年度)を開催した。

イスラーム・ジェンダー学の資料的基盤を構築するために、アラビア語やペルシア語などの関係文献の収集を実施した。ウェブサイト URL を通じて、上記の研究会の通知やその成果を紹介する活動を積極的に進めた。

4. 研究成果

第1期「イスラーム・ジェンダー学」科研の研究成果として刊行してきた研究叢書イスラーム・ジェンダー・スタディーズ(長沢栄治監修:明石書店)の各巻を引き続き刊行した。本科研期間中に刊行されたのは、第3巻:服部美奈・小林寧子編『教育とエンパワーメント』(2020年12月)、第4巻『フィールド経験からの語り』(鳥山順子編、2021年6月)、第5巻『記憶と記録に見る女性たちと百年』(岡真理・後藤絵美編、2023年3月)、第6巻『うつりゆく家族』(竹村和朗編、2023年3月)、第7巻『日本に暮らすムスリム』(嶺崎寛子編、2024年3月)および第8巻『労働の理念と現実』(岩崎えり奈・岡戸真幸編、2024年3月)の5巻である。また、今後第9巻『交差するレイシズム』、第10巻『知の革新』を刊行予定である。なお、日本イスラム協会の学術雑誌『イスラム世界』(100号、2024年2月)で上記叢書の第1巻から第5巻についての書評特集が組まれた。また、第1期・第2期8年間の研究活動の記録を『イスラーム・ジェンダー学科研 活動記録』(長沢栄治編:外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、2024年3月)として刊行した。

分担者の個別の研究成果も数多く出版されたが、主な単著の成果として長沢栄治監修、後藤絵美・鳥山純子・勝沼聡・平井文子著『13歳からのイスラーム』かもがわ出版(2021年5月)、田中雅一・嶺崎寛子編『ジェンダー暴力の文化人類学』昭和堂(2021年2月)、鳥山純子『私らしさの民族誌 現代エジプトの格差、欲望、女性』春風社(2022年3月)、リック・ロカモラ(写真・著)高橋圭・後藤絵美(編著)『マイノリティとして生きる一

アメリカのムスリムとアイデンティティ』東京外国語大学出版会(2022年11月) 長沢栄治・後藤絵美編『東大塾 現代イスラーム講義』東京大学出版会(2023年9月) Mohammed Moussa, Emi Goto (eds.), *Beyond Modernity: Critical Perspectives on Islam, Tradition and Power*, Rowman & Littlefield Pub Inc (2023/11)がある。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計46件（うち査読付論文 15件 / うち国際共著 13件 / うちオープンアクセス 18件）

1. 著者名 井堂有子, 岩崎 えり奈	4. 巻 63(3)
2. 論文標題 「エジプトの食糧不安： 対外依存と都市の脆弱層、食糧補助金制度を中心に」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 『アジア・アフリカ研究』	6. 最初と最後の頁 2-24
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 黒木英充	4. 巻 1041
2. 論文標題 「アレppoの長い19世紀—宗派紛争をめぐる多層構造的な理解（2023年度歴史学研究会大会・近代史部会「社会変動と人びと」）」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 『歴史学研究』	6. 最初と最後の頁 70-80
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 幸加木文	4. 巻 960
2. 論文標題 「スカーフ問題が照らすトルコ共和国の現在」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 『歴史地理教育』	6. 最初と最後の頁 18-23
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 GOTO Emi	4. 巻 54(2)
2. 論文標題 "Translating "Sexual Harassment" in Japan and Egypt: Conception and Perception on the Move"	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 International Quarterly for Asian Studies	6. 最初と最後の頁 173-190
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 後藤給美	4. 巻 15
2. 論文標題 「私が書いたり、読んだりする理由」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 『pieria (ピエリア)』	6. 最初と最後の頁 26-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 後藤給美, 竹村奈々花, 三宅夏芽	4. 巻 13
2. 論文標題 「《書評》村田晶子・森脇健介・矢内琴江・弓削尚子著『ジェンダーのとびらを開こう 自分らしく生きるために』(大和書房、2022年、320頁)」	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 『ジェンダー研究21』	6. 最初と最後の頁 88-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 鷹木恵子	4. 巻 3
2. 論文標題 「J.F.オーベルランの幼児教育と女性教師たち」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 『小泉郁子教育論集月報』	6. 最初と最後の頁 6-9
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹村和朗	4. 巻 58(3/4)
2. 論文標題 「婚姻の動産目録 - エジプトのムスリム家族法と女性を守る慣習法的仕組み」	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 『高千穂論叢』	6. 最初と最後の頁 95-128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 竹村和朗	4. 巻 547
2. 論文標題 「6月30日革命」体制におけるアズハルの独立と統制 新身分法制定をめぐる	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 『中東研究』	6. 最初と最後の頁 29-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 服部美奈, 松本麻人, アズミ・ムクリサフ, エル・アマンダ・デ・ユリア・S, 姜珂兒, 瀧口咲良, 升谷健太	4. 巻 70(1)
2. 論文標題 「日本におけるムスリム教育研究の動向とムスリム教育の現状」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要(教育科学)』	6. 最初と最後の頁 115-149
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18999/nueduca.70.1.115	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 嶺崎寛子	4. 巻 49
2. 論文標題 「ジェンダー・オリエンタリズムと中東人類学」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 『社会人類学年報』	6. 最初と最後の頁 71-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森田豊子	4. 巻 61
2. 論文標題 「書評 政治学・国際関係論からクルド人をとらえる 今井宏平編『クルド問題—非国家主体の可能性と限界』岩波書店、2022年」	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 『平和研究』	6. 最初と最後の頁 153-158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.50848/psaj.610107	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Erina Iwasaki	4. 巻 0
2. 論文標題 "Interconnection of Poverty and Discriminations Under COVID-19 Pandemic"	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『SACRU (The Strategic Alliance of Catholic Research Universities)』	6. 最初と最後の頁 0-0
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 細谷幸子	4. 巻 169
2. 論文標題 「イランの新型コロナウイルス感染症パンデミック下における献血の減少」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『コミュニティ』	6. 最初と最後の頁 80-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小野仁美	4. 巻 867
2. 論文標題 「イスラーム法のなかの「子ども」とジェンダー史」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『歴史評論』	6. 最初と最後の頁 35-43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 小野仁美	4. 巻 97
2. 論文標題 「書評と紹介 八木久美子著『神の嘉する結婚 イスラームの規範と現代社会』」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『イスラム世界』	6. 最初と最後の頁 69-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 村上薫	4. 巻 65
2. 論文標題 「書評 小笠原弘幸編『トルコ共和国 国民の創成とその変容：アタテュルクとエルドアンのはざままで』」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『オリент』	6. 最初と最後の頁 47-51
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 鷹木恵子	4. 巻 454
2. 論文標題 「地球環境問題とチュニジア初の女性農協の活動」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『地中海学会月報』	6. 最初と最後の頁 4-4
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 長澤榮治	4. 巻 320
2. 論文標題 「エジプト資本主義論争との出会い」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『経済』	6. 最初と最後の頁 80-81
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長澤榮治	4. 巻 180
2. 論文標題 「東欧と中東の間の折り重なる歴史 ハンナ・アーレントから学ぶもの」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 季刊アラブ	6. 最初と最後の頁 6-8
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長澤榮治	4. 巻 327
2. 論文標題 「中東政治を動かすものと変革の課題」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『経済』	6. 最初と最後の頁 105-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長澤榮治	4. 巻 182
2. 論文標題 「なぜ「女性、命、自由」なのか：中東における変革の可能性を考える」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 季刊アラブ	6. 最初と最後の頁 8-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岩崎えり奈	4. 巻 64
2. 論文標題 「書評 長沢栄治著『近代エジプト家族の社会史』」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『オリент』	6. 最初と最後の頁 83-88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 ONO Hitomi	4. 巻 56
2. 論文標題 "The Concept of Family in the Thought of Ibn 'Ashur: Islamic Traditions and Modern Patriarchy"	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『Orient: Journal of the Society for Near Eastern Studies in Japan』	6. 最初と最後の頁 63-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹村和朗	4. 巻 56
2. 論文標題 「セクシュアル・ハラスメントの厳罰化 2021年8月のエジプト刑法改正の内容と背景」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『高千穂論叢』	6. 最初と最後の頁 95-118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 竹村和朗	4. 巻 15
2. 論文標題 「 [書評論文] 八木久美子 『神の嘉する結婚 イスラムの規範と現代社会』 東京外国語大学出版会, 2020 年」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『イスラーム世界研究』	6. 最初と最後の頁 328-336
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長澤榮治	4. 巻 927
2. 論文標題 「イスラームと「ジェンダー的公正」をめぐる問題を考える」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『歴史地理教育』 (歴史教育者協議会)	6. 最初と最後の頁 62-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長澤榮治	4. 巻 172
2. 論文標題 「革命の顛末から分かったこと エジプトの場合」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『季刊アラブ』	6. 最初と最後の頁 14-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 鴨川明子, 服部美奈	4. 巻 32
2. 論文標題 「東南アジア島嶼部における女性の高学歴化とジェンダー インドネシアとマレーシアの比較教育研究」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 『山梨大学教育学部紀要』	6. 最初と最後の頁 1-21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡戸真幸	4. 巻 6
2. 論文標題 往来を続ける出稼ぎ労働者：エジプトとクウェートの狭間で	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 赤堀雅幸編『ディアスポラのムスリムたち：異郷に生きて交わること (SIAS Lectures 6)』	6. 最初と最後の頁 77-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Iwasaki, E., Elbeih, S., Shalaby, A., Khedr, H., Zaghloul, E.A.	4. 巻 5(61)
2. 論文標題 Wells and land use changes in Dakhla Oasis (Egypt) using geospatial analysis. A case study of Rashda village	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Euro-Mediterranean Journal for Environmental Integration	6. 最初と最後の頁 1-14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s41207-020-00202-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kimura, R., Iwasaki, E, Matsuoka, N.	4. 巻 12(8)
2. 論文標題 Analysis of the recent agricultural situation of Dakhla Oasis, Egypt, using meteorological and satellite data	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Remote Sensing	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/rs12081264	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 KOKAKI, Aya	4. 巻 32
2. 論文標題 The Online Public Sphere in Turkey in Light of Women's Relationship with the Headscarf	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 IAS Working Paper Series	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 幸加木文	4. 巻 第94巻別冊
2. 論文標題 トルコの宗教系市民社会組織の政治的関与と宗教意識	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 宗教研究	6. 最初と最後の頁 290-291
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 細谷幸子	4. 巻 33
2. 論文標題 イランにおける患者の権利をめぐる議論 映画監督キアロスタミの死を契機として	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 上智大学イスラーム研究センターWPシリーズ: 『中東イスラーム圏における社会的弱者の権利を考える』	6. 最初と最後の頁 75-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Hosoya, Sachiko	4. 巻 13
2. 論文標題 Wishes, Choices and Experiences in Marriage and Reproduction of People with Genetic Diseases: An Example of People with Thalassemia Major in Iran	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Ars Vivendi Journal	6. 最初と最後の頁 2-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mahmoud Hadipour Dehshal, Michael Angastiniotis, Sachiko Hosoya, Fatemeh Hashemi Bahremani, Mehdi Tabrizi Namini, Androulla Eleftheriou	4. 巻 11(9514)
2. 論文標題 Iranian patients' attitudes to current and novel therapies: A patient directed survey	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Thalassemia Reports	6. 最初と最後の頁 1-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 細谷幸子	4. 巻 8
2. 論文標題 イランのスピリチュアルケアの現状	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 グリーンケア	6. 最初と最後の頁 195-246
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 森田豊子	4. 巻 33
2. 論文標題 現代イランにおける子どもの人権とイスラーム	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 SIAS Working Paper Series	6. 最初と最後の頁 52-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 森田豊子	4. 巻 14
2. 論文標題 書評「小野仁美著『イスラーム法の子ども観』慶應義塾大学出版2019年」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 イスラーム世界研究	6. 最初と最後の頁 370-373
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14989/262514	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 鷹木恵子	4. 巻 87
2. 論文標題 民主化移行を果たしたチュニジア	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 MUNDI 特集 中東のいま「アラブの春」から10年	6. 最初と最後の頁 12-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 竹村和朗	4. 巻 101
2. 論文標題 エジプト2014年憲法の読解：2019年4月の憲法改正から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 アジア・アフリカ言語文化研究	6. 最初と最後の頁 101～140
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15026/100087	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 竹村和朗	4. 巻 61
2. 論文標題 ワクフに関するエジプト最高憲法裁判所：2008年違憲判決の解題および全訳	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アジア経済	6. 最初と最後の頁 32-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24765/ajiakeizai.61.4_32	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 長澤榮治	4. 巻 172
2. 論文標題 「いのち」の絆と聖別される死	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 季刊アラブ	6. 最初と最後の頁 2-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 服部美奈、神内陽子、アユ・アズハリヤ、エル・アマンダ・デ・ユリ、アズミ・ムフリサフ	4. 巻 67
2. 論文標題 インドネシアにおける2013年カリキュラムの施行とその展開過程	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要（教育科学）	6. 最初と最後の頁 81-96
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 服部美奈	4. 巻 1007
2. 論文標題 コメント2 冷戦下のジェンダーにおける「解放」と「開発」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 歴史学研究	6. 最初と最後の頁 140-143
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

〔学会発表〕 計60件（うち招待講演 31件 / うち国際学会 18件）

1. 発表者名 小野仁美
2. 発表標題 イスラーム法学書に読む「子ども」
3. 学会等名 東京ジャーミイ文書館主催 特別公開文化講座（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野仁美
2. 発表標題 あいまいな性とイスラーム—前近代の法学と医学
3. 学会等名 性と性愛をめぐる前近代イスラーム史」（イスラーム・ジェンダー学科研 第4回若手研究報告会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野仁美
2. 発表標題 イスラーム法と前近代ムスリム社会の『性別役割分業』
3. 学会等名 イスラーム・ジェンダー・スタディーズ8『労働の理念と現実』刊行記念シンポジウム
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Hidemitsu Kuroki
2. 発表標題 Japanese Perspectives of Studying Islam: Introducing the Project of Islamic Trust Studies
3. 学会等名 International Conference of the Max Weber Foundation: Transnational Research in a Multipolar World (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 黒木英充
2. 発表標題 アレppoの長い19世紀：宗派紛争をめぐる多層構造的な理解
3. 学会等名 歴史学研究会2023年度大会 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 黒木英充
2. 発表標題 今、あらためて民族・宗派紛争を考える：中東、そしてウクライナ
3. 学会等名 第238回広島大学平和センター研究会 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 黒木英充
2. 発表標題 フランスとシリア・レバノン：幾重にもアンビバレントな関係
3. 学会等名 日仏会館日仏文化講演シリーズ第371回（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 黒木英充
2. 発表標題 イスラームの食の精神と東地中海の食
3. 学会等名 かわさき市民アカデミー「イスラームをもっと知ろう イスラーム文化を探訪する」第8回（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 黒木英充
2. 発表標題 「イスラーム vs 近代」を相対化し、のりこえる
3. 学会等名 かわさき市民アカデミー「イスラームをもっと知ろう イスラーム文化を探訪する」第12回（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Hidemitsu Kuroki
2. 発表標題 Trust and Mistrust in the Self-Determination: Lebanese and Syrian Migrants' Proposals to the Paris Peace Conference
3. 学会等名 SSEES-SRC Workshop "Ends of Empires: Crisis and Resilience in the Long Twentieth Century（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Hidemitsu Kuroki
2. 発表標題 Closing Remarks
3. 学会等名 The 3rd Islamic Trust Studies International Conference "Exploring the Tacit Knowledge of Trust Building and Connectivity amidst Predicaments" (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 Hidemitsu Kuroki
2. 発表標題 Long-Distance Nationalism of Syrian Migrants during WWI
3. 学会等名 Interculture Simulation Workshop, Faculty of Political Science, Istanbul University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 GOTO Emi
2. 発表標題 "Introducing Musawah"
3. 学会等名 Musawah x The University of Tokyo: Justice and Beauty in Muslim Marriage (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 後藤絵美
2. 発表標題 ジェンダー平等を求めて：近現代におけるムスリム女性の宗教改革運動とその核心
3. 学会等名 ジェンダー史学会2023年大会シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 後藤給美
2. 発表標題 イスラームにおける女性とスカーフ
3. 学会等名 シアターリーブラ 映画『アッラーと私とスカーフと』（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 高橋圭
2. 発表標題 コメント（パネル「イスラームの聖者論と権威」）
3. 学会等名 第82回日本宗教学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 高橋圭・後藤給美
2. 発表標題 イスラームのいま 写真に見るその多様な姿
3. 学会等名 連続市民講座「世界を学ぶ、世界を生きる」（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 竹村和朗
2. 発表標題 第6巻『うつりゆく家族』合評会 趣旨説明、応答&パネルディスカッション
3. 学会等名 イスラーム・ジェンダー学の軌跡と今後のゆくえ 全体集会 / 『記憶と記録にみる女性たちと百年』『うつりゆく家族』合評会（招待講演）
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 服部美奈
2. 発表標題 インドネシアのホームスクーリング - ナショナルを越える自由な学びの広がりと意図せざる結果
3. 学会等名 日本教育学会第82回大会 (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Sachiko HOSOYA
2. 発表標題 The Middle Eastern Diasporas in East Asia (パネル企画)
3. 学会等名 Commission on Anthropology of the Middle East (イスタンブール) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Toyoko Morita
2. 発表標題 Round Table: Transmission of cultural heritage through ritual and object traditions to the next generation in the immigrant community in different parts
3. 学会等名 International Union of Anthropological and Ethnological Sciences (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Emi Goto
2. 発表標題 Qasim Amin and the roles of male intellectuals in the development of feminism in Egypt
3. 学会等名 Workshop: Muslim Feminism Thoughts in the Early 20th Century: Qasim Amin and Tahar Haddad (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Emi Goto
2. 発表標題 Theology of Actress: Hijab, Feminism, and Islam in Egypt
3. 学会等名 Workshop for Women's Pathways to Professionalization in Muslim Asia: Reconfiguring Religious Knowledge, Gender, and Connectivity (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 後藤給美
2. 発表標題 イスラームとジェンダー平等 ナスル・ハーミド・アブー＝ザイドの議論の論理と可能性
3. 学会等名 日本中東学会第38回年次大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 後藤給美
2. 発表標題 イスラームとジェンダー平等 クルアーンと国際規範のあいだで
3. 学会等名 早稲田大学地域間共生とジェンダー研究会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩崎入り奈・井堂有子
2. 発表標題 エジプトにおける食糧「危機」が直撃する脆弱層の台所 家計調査データにみる
3. 学会等名 国際開発学会第33回全国大会 (企画セッション「ウクライナ紛争と中東・北アフリカ地域の食糧不安・危機 レバノン・エジプト・チュニジアの事例より」 於明治大学) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩崎えり奈
2. 発表標題 Food security and Poverty in Egypt
3. 学会等名 4th International Conference on Japanese Studies, "Economic Growth, Social Inclusion and Environmental Protection in Africa: Lessons from Japanese Development History" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 岩崎えり奈
2. 発表標題 エジプトにおける食糧『危機』が直撃する脆弱層
3. 学会等名 公開ワークショップ『今日の中東・北アフリカの食糧問題 チュニジア・レバノン・エジプトの事例より』
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 小野仁美
2. 発表標題 コメント
3. 学会等名 2022年度IG科研公開セミナー「鹿児島から『異文化』と『食』を考える」
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Toyoko Morita
2. 発表標題 Education for the Children of Immigrants from the Middle East to Japan
3. 学会等名 International Culture, Art and Communications Symposium in Byburt University in Turkey (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Toyoko Morita
2. 発表標題 Immigrants from the Middle East to Japan: comparing the situation in the 1990 's and 2010 's
3. 学会等名 International Union of Anthropological and Ethnological Sciences Commission on the Middle East in Institut Francais d ' Etudes Anatoliennes in Turkey (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 岩崎えり奈・柏木健一
2. 発表標題 エジプト西部砂漠オアシス社会における農家戦略としての沙漠・地下水開発
3. 学会等名 第32回日本沙漠学会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 幸加木文
2. 発表標題 トルコの人権問題に関する議論の批判的検討
3. 学会等名 日本中東学会第37回年次大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 幸加木文
2. 発表標題 トルコにおける女性をめぐる市民活動
3. 学会等名 笹川平和財団中東・イスラム事業グループ勉強会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高橋圭
2. 発表標題 スーフィズムから見るアメリカのイスラーム
3. 学会等名 滞日ムスリムと多文化共生研究会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高橋圭
2. 発表標題 アメリカでイスラームの伝統を学ぶ：スンナ派伝統主義の新たな展開
3. 学会等名 東京大学中東地域研究センター連続企画駒場中東セミナー「遺産と中東：文化・歴史・信仰の展開」（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 高橋圭
2. 発表標題 北米のスーフィー団体 オンラインとオフラインのはざままで
3. 学会等名 日本イスラム協会2021年度前期公開講演会「コロナ禍におけるムスリムの宗教実践」（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小野仁美
2. 発表標題 「イスラーム家族法とフェミニズムーチュニアの相続規定をめぐる多様な立場
3. 学会等名 2021年度立教大学史学会大会 公開講演会「人権と向き合う現代世界ー権力と人権をめぐる現代人類史・誌的省察のために」（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 竹村和朗
2. 発表標題 討論ディスカサント
3. 学会等名 京都大学東南アジア地域研究研究所共同研究「ムスリム家族とジェンダー規範をめぐる時空間のパースペクティヴ：中央ユーラシア、ロシア、中東をつなぐ」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 竹村和朗
2. 発表標題 コメント
3. 学会等名 科研費基盤(A)「イスラーム・ジェンダー学の現代的課題に関する応用的・実践的研究」公開シンポジウム「女性の財産権・相続をめぐる比較ジェンダー史」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 竹村和朗
2. 発表標題 ハニア・シャルカーウィ博士報告の説明とコメント
3. 学会等名 笹川平和財団 公開ウェビナー「エジプトにおける女性のエンパワーメント：取り組みと課題」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 服部美奈
2. 発表標題 インドネシアにおける女性の高学歴化 - 「ワークライフキャリア形成」とジェンダー
3. 学会等名 日本比較教育学会研究委員会主催オンライン・ワークショップ「東南アジアにおける女性の高学歴化を考える - 「ワークライフキャリア形成」とジェンダー」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 服部美奈
2. 発表標題 インドネシアにおけるイスラーム教育改革 - プサントレン法 (2019) をめぐる動きに着目して
3. 学会等名 日本比較教育学会第57回大会、筑波大学 (オンライン)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 服部美奈
2. 発表標題 義務教育とホームスクール規定の国際比較 インドネシア
3. 学会等名 ラウンドテーブル、日本比較教育学会第57回大会、筑波大学 (オンライン)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山崎和美・森田豊子・後藤絵美
2. 発表標題 イスラーム世界の女性たちと日々の生活：結婚・装い・美容
3. 学会等名 横浜市立大学 国際都市学系・国際教養学部ジェンダー研究会 (第3回)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 山崎和美
2. 発表標題 イランの「ヘジャーブ」とガージャール朝末期からパフラヴィー朝初期における女性運動
3. 学会等名 東洋文庫 現代イスラーム班 イラン・グループ オンライン研究集会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 細谷幸子
2. 発表標題 日本におけるアフガニスタン人の定住化
3. 学会等名 上智大学 アジア文化研究所 国際開発学会「人の移動と開発」研究部会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 GOTO, Emi
2. 発表標題 Translations of the Qur ' an and Gender Justice: The Case of Ryoichi Mita ' s Work in Japan
3. 学会等名 International Workshop, Knowledge on the Move: Connectivities, Frontiers, Translations in Asia (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 幸加木文
2. 発表標題 トルコの宗教系市民社会組織の政治的関与と宗教意識
3. 学会等名 日本宗教学会第79回学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 幸加木文
2. 発表標題 トルコ人女性のスカーフ着用をめぐる宗教意識の諸相 ~ 宗教保守化と再世俗化の狭間で
3. 学会等名 日本中東学会第36回年次大会特別研究集会 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 黒木英充
2. 発表標題 疫病と社会 レバノンが直面する困難と将来
3. 学会等名 第228回広島大学平和センター研究会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 黒木英充
2. 発表標題 疫病により試される社会のカー近現代のシリア・レバノンから
3. 学会等名 新学術領域研究「グローバル関係学」連続ウェブ・セミナー「新型コロナウイルスと中東」第1回（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 細谷幸子
2. 発表標題 イランのろう者の手話に関する情報
3. 学会等名 イラン研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 細谷幸子
2. 発表標題 医療機関におけるムスリム対応
3. 学会等名 公開セミナー「日本に暮らすムスリムを取り巻く諸 問題 職場・学校・地域から」
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 山崎和美
2. 発表標題 今後の研究の方向性とヘジャーブに関して
3. 学会等名 東洋文庫 現代イスラーム班イラン・グループ オンライン研究集会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小野仁美
2. 発表標題 21世紀におけるマカースイド・シャリーア理論の展開
3. 学会等名 日本中東学会第36回年次大会特別研究集会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 鷹木恵子
2. 発表標題 チュニジアにおける家族計画と女性のエンパワーメント SDGsとジェンダー・イシューの人類学的考察
3. 学会等名 Otre Camino SDGs Dialogue、「国際女性デーから考える人間の安全保障とジェンダー」（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 TAKAKI, Keiko
2. 発表標題 Tunisia after the Revolution 2011 and the Civil Society
3. 学会等名 University of Sousse & Sophia University Tunisia, 10 years after the Revolution of 2011（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 竹村和朗
2. 発表標題 生前贈与の意味と意義：現代エジプトの事例から考える
3. 学会等名 第36回日本中東学会年次大会特別研究集会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 服部美奈
2. 発表標題 コメント - 冷戦下のジェンダーにおける「解放」と「開発」
3. 学会等名 2020年度歴史学研究会現代史部会
4. 発表年 2020年

〔図書〕 計63件

1. 著者名 GOTO Emi	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Cambridge University Press	5. 総ページ数 1524
3. 書名 Christopher Breward, Beverly Lemire, Giorgio Riello (eds.), The Cambridge Global History of Fashion	

1. 著者名 ONO Hitomi	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Rowman & Littlefield Pub Inc	5. 総ページ数 209
3. 書名 Mohammed Moussa, Emi Goto (eds.), Beyond Modernity: Critical Perspectives on Islam, Tradition and Power	

1. 著者名 GOTO Emi	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Rowman & Littlefield Pub Inc	5. 総ページ数 209
3. 書名 Mohammed Moussa, Emi Goto (eds.), Beyond Modernity: Critical Perspectives on Islam, Tradition and Power	

1. 著者名 小野仁美	4. 発行年 2024年
2. 出版社 大阪大学出版会出版会	5. 総ページ数 257
3. 書名 井野瀬久美恵, 粟屋利江, 長志珠絵編『「世界」をどう問うか?: 地域・紛争・科学』(ひとから問うジェンダーの世界史3)	

1. 著者名 黒木英充	4. 発行年 2024年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 292
3. 書名 黒木英充編『移民・難民のコネクティビティ』	

1. 著者名 小野仁美	4. 発行年 2024年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 800
3. 書名 ジェンダー事典編集委員会編『ジェンダー事典』	

1. 著者名 後藤絵美	4. 発行年 2023年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 274
3. 書名 長沢栄治・後藤絵美編『東大塾 現代イスラーム講義』	

1. 著者名 長澤栄治	4. 発行年 2023年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 274
3. 書名 長沢栄治・後藤絵美編『東大塾 現代イスラーム講義』	

1. 著者名 岡戸真幸	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 265
3. 書名 長沢栄治監修, 岩崎えり奈, 岡戸真幸編『労働の理念と現実』(イスラーム・ジェンダー・スタディーズ 10)	

1. 著者名 幸加木文	4. 発行年 2024年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 265
3. 書名 長沢栄治監修, 岩崎えり奈, 岡戸真幸編『労働の理念と現実』(イスラーム・ジェンダー・スタディーズ 11)	

1. 著者名 鷹木恵子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 265
3. 書名 長沢栄治監修, 岩崎えり奈, 岡戸真幸編『労働の理念と現実』(イスラーム・ジェンダー・スタディーズ 12)	

1. 著者名 嶺崎寛子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 265
3. 書名 長沢栄治監修, 岩崎えり奈, 岡戸真幸編『労働の理念と現実』(イスラーム・ジェンダー・スタディーズ 13)	

1. 著者名 小野仁美	4. 発行年 2024年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 265
3. 書名 長沢栄治監修, 岩崎えり奈, 岡戸真幸編『労働の理念と現実』(イスラーム・ジェンダー・スタディーズ 14)	

1. 著者名 細谷幸子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 265
3. 書名 長沢栄治監修, 岩崎えり奈, 岡戸真幸編『労働の理念と現実』(イスラーム・ジェンダー・スタディーズ 15)	

1. 著者名 長澤榮治	4. 発行年 2024年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 265
3. 書名 長澤栄治監修, 岩崎えり奈, 岡戸真幸編『労働の理念と現実』(イスラーム・ジェンダー・スタディーズ16)	

1. 著者名 村上薫	4. 発行年 2024年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 265
3. 書名 長澤栄治監修, 岩崎えり奈, 岡戸真幸編『労働の理念と現実』(イスラーム・ジェンダー・スタディーズ8)	

1. 著者名 岩崎えり奈	4. 発行年 2024年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 265
3. 書名 長澤栄治監修, 岩崎えり奈, 岡戸真幸編『労働の理念と現実』(イスラーム・ジェンダー・スタディーズ9)	

1. 著者名 森田豊子	4. 発行年 2024年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 292
3. 書名 長澤栄治監修, 嶺崎寛子編『日本に暮らすムスリム』(イスラーム・ジェンダー・スタディーズ7)	

1. 著者名 後藤給美	4. 発行年 2023年
2. 出版社 G.B.	5. 総ページ数 399
3. 書名 ナディア・ワーセフ著『シェルフ・ライフ カイロで革新的な書店を愛し育て、苦悩した記録』	

1. 著者名 小野仁美	4. 発行年 2023年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 754
3. 書名 日本家族社会学会編『家族社会学事典』	

1. 著者名 小野仁美	4. 発行年 2024年
2. 出版社 大阪大学出版会	5. 総ページ数 277
3. 書名 三成美保, 小浜正子, 鈴木則子編『「ひと」とはだれか? 身体・セクシュアリティ・暴力』(ひとから問うジェンダーの世界史1)	

1. 著者名 村上薫	4. 発行年 2024年
2. 出版社 大阪大学出版会	5. 総ページ数 278
3. 書名 三成美保, 小浜正子, 鈴木則子編『「ひと」とはだれか? 身体・セクシュアリティ・暴力』(ひとから問うジェンダーの世界史1)	

1. 著者名 岩崎えり奈	4. 発行年 2024年
2. 出版社 大阪大学出版会	5. 総ページ数 277
3. 書名 三成美保, 小浜正子, 鈴木則子編 『「ひと」とはだれか? 身体・セクシュアリティ・暴力』 (ひとから問うジェンダーの世界史1)	

1. 著者名 小野仁美	4. 発行年 2024年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 292
3. 書名 嶺崎寛子編 『日本に暮らすムスリム』 (イスラーム・ジェンダー・スタディーズ7)	

1. 著者名 細谷幸子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 292
3. 書名 嶺崎寛子編 『日本に暮らすムスリム』 (イスラーム・ジェンダー・スタディーズ7)	

1. 著者名 嶺崎寛子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 292
3. 書名 嶺崎寛子編 『日本に暮らすムスリム』 (イスラーム・ジェンダー・スタディーズ7)	

1. 著者名 小野仁美	4. 発行年 2023年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 320
3. 書名 山口みどり, 弓削尚子, 後藤絵美, 長志珠絵, 石川照子編『論点・ジェンダー史学』	

1. 著者名 後藤絵美	4. 発行年 2023年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 320
3. 書名 山口みどり, 弓削尚子, 後藤絵美, 長志珠絵, 石川照子編『論点・ジェンダー史学』	

1. 著者名 鷹木恵子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 320
3. 書名 山口みどり, 弓削尚子, 後藤絵美, 長志珠絵, 石川照子編『論点・ジェンダー史学』	

1. 著者名 長澤榮治	4. 発行年 2023年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 320
3. 書名 山口みどり, 弓削尚子, 後藤絵美, 長志珠絵, 石川照子編『論点・ジェンダー史学』(共著)分担執筆 「アラブ社会主義とフェミニズム」執筆分担200-201頁)	

1. 著者名 村上薫	4. 発行年 2023年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 320
3. 書名 山口みどり, 弓削尚子, 後藤絵美, 長志珠絵, 石川照子編『論点・ジェンダー史学』	

1. 著者名 後藤絵美	4. 発行年 2023年
2. 出版社 作品社	5. 総ページ数 336
3. 書名 山口みどり, 中野嘉子編『憧れの感情史 アジアの近代と 新しい女性 』	

1. 著者名 村上薫	4. 発行年 2023年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 754
3. 書名 日本家族社会学会編『家族社会学事典』	

1. 著者名 岩崎えり奈	4. 発行年 2023年
2. 出版社 大阪大学出版会	5. 総ページ数 275
3. 書名 姫岡とし子, 久留島典子, 小野仁美編「社会」はどう作られるか? : 家族・制度・文化」(ひとから問うジェンダーの世界史)	

1. 著者名 後藤絵美	4. 発行年 2023年
2. 出版社 大阪大学出版会	5. 総ページ数 275
3. 書名 姫岡とし子, 久留島典子, 小野仁美編 「社会」はどうか? : 家族・制度・文化 (ひとから問うジェンダーの世界史)	

1. 著者名 服部美奈	4. 発行年 2023年
2. 出版社 大阪大学出版会	5. 総ページ数 275
3. 書名 姫岡とし子, 久留島典子, 小野仁美編 「社会」はどうか? : 家族・制度・文化 (ひとから問うジェンダーの世界史)	

1. 著者名 村上薫	4. 発行年 2023年
2. 出版社 大阪大学出版会	5. 総ページ数 275
3. 書名 姫岡とし子, 久留島典子, 小野仁美編 『社会』はどうか? : 家族・制度・文化 (ひとから問うジェンダーの世界史)	

1. 著者名 後藤絵美	4. 発行年 2023年
2. 出版社 集英社	5. 総ページ数 796
3. 書名 姜尚中ほか編 『アジア人物史 10巻 民族解放の夢 [19~20世紀]』	

1. 著者名 岡戸真幸, 嶺崎寛子, 後藤絵美	4. 発行年 2023年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 714
3. 書名 イスラーム文化事典編集委員会編『イスラーム文化事典』	

1. 著者名 岡真理, 後藤絵美, 鷹木恵子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 287
3. 書名 長沢栄治監修, 岡真理・後藤絵美編『記憶と記録にみる女性たちと百年(イスラーム・ジェンダー・スタディーズ5)』	

1. 著者名 岩崎えり奈, 岡戸真幸, 竹村和朗	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 278
3. 書名 長沢栄治監修, 竹村和朗編『うつりゆく家族(イスラーム・ジェンダー・スタディーズ6)』	

1. 著者名 後藤絵美, 高橋圭	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東京外国語大学出版会	5. 総ページ数 103
3. 書名 リック・ロカモラ(写真・著) 高橋圭・後藤絵美(編著)『マイノリティとして生きる アメリカのムスリムとアイデンティティ』	

1. 著者名 岩崎えり奈	4. 発行年 2023年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 280
3. 書名 中村覚監修、横田貴之編著、『エジプト』（シリーズ・中東政治研究の最前線 4）	

1. 著者名 細谷幸子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 アジア経済研究所	5. 総ページ数 210
3. 書名 森壮也編著『中東のなかの「障害と開発」』	

1. 著者名 岡戸真幸	4. 発行年 2021年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 288
3. 書名 長沢栄治監修、鳥山純子編著『フィールド経験からの語り（イスラーム・ジェンダー・スタディーズ4）』	

1. 著者名 岡戸真幸	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 392
3. 書名 西尾哲夫、東長靖編著『中東・イスラーム世界への30の扉』	

1. 著者名 後藤絵美, 鳥山純子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 かもがわ出版	5. 総ページ数 176
3. 書名 長沢栄治監修, 後藤絵美, 鳥山純子, 勝沼聡, 平井文子著 『13歳からのイスラーム』	

1. 著者名 KOKAKI, Aya	4. 発行年 2022年
2. 出版社 Center for Islamic Studies, Sophia University	5. 総ページ数 168
3. 書名 SAWAE Fumiko (ed.), Muslims in the Globalizing World/ Some Reflections on Japan, (SIAS working paper series 38)	

1. 著者名 鳥山純子, 竹村和朗, 村上薫, 細谷幸子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 244
3. 書名 長沢栄治監修, 鳥山純子編著 『フィールド経験からの語り(イスラーム・ジェンダー・スタディーズ4)』	

1. 著者名 村上薫	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 369
3. 書名 西尾哲夫, 東長靖編著 『中東・イスラーム世界への30の扉』	

1. 著者名 長澤榮治	4. 発行年 2021年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 716
3. 書名 社会経済史学会編『社会経済史学事典』	

1. 著者名 長澤榮治	4. 発行年 2022年
2. 出版社 上智大学イスラーム研究センター	5. 総ページ数 96
3. 書名 井堂有子ほか『胃袋を満たす国家の戦略 戦後日本、インド、エジプトの事例より』	

1. 著者名 鳥山純子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 297
3. 書名 足立研幾・板木雅彦・白戸圭一・鳥山純子・南野恭義編『プライマリー国際関係学』	

1. 著者名 鳥山純子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 432
3. 書名 『私らしさの民族誌 現代エジプトの格差、欲望、女性』	

1. 著者名 鳥山純子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 424
3. 書名 大坪玲子・谷憲一編『嗜好品から見える社会』	

1. 著者名 服部美奈	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東信堂	5. 総ページ数 200
3. 書名 日下部達哉編『イスラーム教育改革の国際比較』	

1. 著者名 服部美奈	4. 発行年 2021年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 209
3. 書名 学会創立30周年記念編集委員会編、佐藤千津編著『コミュニティの創造と国際教育<日本国際教育学会創立30周年記念論集>』	

1. 著者名 服部美奈	4. 発行年 2021年
2. 出版社 名古屋大学出版会	5. 総ページ数 325
3. 書名 松下晴彦・伊藤彰浩・服部美奈編著『教育原理を組みなおす - 変革の時代をこえて』	

1. 著者名 嶺崎寛子	4. 発行年 2022年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 328
3. 書名 島園進・奥山倫明 編『いまを生きるための宗教学』	

1. 著者名 牧野久美子、岩崎えり奈	4. 発行年 2020年
2. 出版社 旬報社	5. 総ページ数 471
3. 書名 新世界の社会福祉11: アフリカ中東	

1. 著者名 高尾 賢一郎、後藤 絵美、小柳 敦史	4. 発行年 2021年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 370
3. 書名 宗教と風紀	

1. 著者名 田中 雅一、嶺崎 寛子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 448
3. 書名 ジェンダー暴力の文化人類学	

1. 著者名 長沢 栄治、服部 美奈、小林 寧子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 272
3. 書名 教育とエンパワーメント	

〔産業財産権〕

〔その他〕

科研費基盤研究(A)：イスラーム・ジェンダー学と現代的課題に関する応用的・実践的研究 https://islam-gender.jp/

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	村上 薫 (Murakami Kaoru) (00466062)	独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・新領域研究センター ジェンダー・社会開発研究グループ・研究グループ長代理 (82512)	
研究分担者	森 千香子 (Mori Chikako) (10410755)	同志社大学・社会学部・教授 (34310)	
研究分担者	後藤 絵美 (Goto Emi) (10633050)	東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・助教 (12603)	

6. 研究組織 (つづき)

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	鳥山 純子 (Toriyama Junko) (10773864)	立命館大学・国際関係学部・准教授 (34315)	
研究分担者	森田 豊子 (Morita Toyoko) (10791113)	横浜市立大学・都市社会文化研究科・客員研究員 (22701)	
研究分担者	黒木 英充 (Kuroki Hidemitsu) (20195580)	東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・教授 (12603)	
研究分担者	岩崎 えり奈 (Iwasaki Erina) (20436744)	上智大学・外国語学部・教授 (32621)	
研究分担者	小野 仁美 (Ono Hitomi) (20812324)	東京大学・大学院人文社会系研究科(文学部)・助教 (12601)	
研究分担者	服部 美奈 (Hattori Mlna) (30298442)	名古屋大学・教育発達科学研究科・教授 (13901)	
研究分担者	岡 真理 (Oka Mari) (30315965)	早稲田大学・文学学術院・教授 (32689)	
研究分担者	山崎 和美 (Yamazaki Kazumi) (30513767)	横浜市立大学・国際教養学部(教養学系)・准教授 (22701)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	嶺崎 寛子 (Minesaki Hiroko) (50632775)	成蹊大学・文学部・准教授 (32629)	
研究分担者	鷹木 恵子 (Takaki Keiko) (60211330)	桜美林大学・リベラルアーツ学群・教授 (32605)	
研究分担者	高橋 圭 (Takahashi Kei) (60449080)	東洋大学・文学部・助教 (32663)	
研究分担者	細谷 幸子 (Hosoda Sachiko) (60516152)	国際医療福祉大学・成田看護学部・教授 (32206)	
研究分担者	竹村 和朗 (Takemura Kazuaki) (60782654)	高千穂大学・人間科学部・准教授 (32637)	
研究分担者	幸加木 文 (Kokaki aya) (80794312)	千葉大学・大学院社会科学研究院・特任研究員 (12501)	
研究分担者	岡戸 真幸 (Okado Masachi) (00634338)	上智大学・イスラーム研究センター・研究員 (32621)	削除：2022年7月11日

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8 . 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------